

来た来た春だ!

そだたね〜

花々のつぼみも 樹々の芽もふくらむ



無我久庵開店から十年。その歴史の中で、記録的な低温と最大の積雪を...

雪が倒れている様子も、幾度と無く観察されました。除雪機を駆り立て、駐車場を二時間かけて整備する日々も、二ヶ月ほど続きました。

案内板

会員のための得々コース 4月22日まで延長



4月 山菜特別ランチ

お食事メニュー(和風中華そば)

- 早春を装うつつわ展 陶芸得々コース開設 珈琲無料優待券贈呈 体験陶器お渡し

5月 薫風特別ランチ

お食事メニュー(ざるそば)

体験陶器お渡し

6月 夏野菜特別ランチ

お食事メニュー(ざるそば)

- 青葉を彩るつつわ展

7・8月

薫風・お茶会

陶房ゆとり炉展

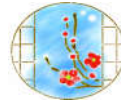
お食事メニュー(ざるそば)

親子陶芸体験企画

陶芸得々コース開設

春の野菜

五月より販売



無我久庵で採種した種を三月末から播種し、五月中旬より野菜の販売を行います。トマト・胡瓜・南瓜類・根菜類・葉もの野菜を中心にお分けいたします。

もお客さまに提供中です。雪解けに誘われ、泉ヶ岳の山道に駆け入り、ノカンゾウ・枯れ草の間から、ノカンゾウ・ウレシイが顔を出し、山菜の季節を告げています。

第十回 会場 グリーンプラザ 陶房ゆとり炉展 7月3日〜8日

2000年から隔年で開催しております。陶、陶芸教室の生徒さんによる作品展・陶、陶房ゆとり炉展も今年で十回を数えます。今回は陶房にお通いの教室会...

薫風・茶会 離宮 無我久庵茶室場



薫風に誘われ、山里でゆっくり抹茶を楽しまたい、との声にお応えし、茶会を企画致しました。 7月6日 期日 7月6日 お点前と懐石膳がご賞味いただけます 会費 千五百円 時間 午前10時〜12時 (10名) 午後2時〜4時 (10名) 参加者数によつては、とりやめの場合もございます。

春の窯開け 新作うつわ多数 数に限りありお早めに

期日 四月二十四日

十一時から十五時まで

昨秋から作陶して参りました作品の数々を、素焼き・本焼きを経て、いよいよ窯出しを行います。早い者勝ちで新作・珍品を販売いたします。お買い得価格にて販売いたします。

四季草々

心あてに折らばや折おらむ初霜の おきまどわせる 白菊の花

冒頭の句は、古今集の著名な選者で歌人の詠んだ名句です。 初霜の降りた真 百の庭園に驚いた歌人は、ふと風流な「イタズラ」を思いつき、当てずほうに純白の白菊の花を折り、霜の上に置いてみようかと決心します。家人は霜と白菊が一体となりきどだまされるやあるう...と歌人が心を躍らせる 雅な情景です。



一見、どこにもありそうな立体ですが、現実にはあり得ない図形です。観た人はそのだましのテクニクに感動します。この種の絵は「だまし絵」と呼ばれます。

雪降る前の晩秋の岳山をそぞろに歩きますと、昆虫のオドロキの生態に感動します。枯れ木の小枝にそそり、の形のナナフシ、枯れ葉と見分けのつかないムラサキヤチホコ等、マこれらは鳥の捕食から身を守る擬態と呼ばれます。昆虫の上ましの進化です。大雪に閉ざされたこの冬、自称、都会のマガギは、だましじについて、手造りの酒を片手にし、みみ考えてみました。

文学・芸術・科学性に裏付けられた「だまし」の中には、ヒトの心を傷つけない香り高い癒やしの心づかいを感じますが、このところの日本人にはチョット遠く、た趣が漂います。 STAP細胞はあります!と豪語した厚顔の女性研究員。

音を失った天才和製ペーパーペンともてはやされた楽聖は、ピアノも弾けない作曲家。他国の戦場で書かれた自衛隊の日報の廃棄発言...でも、案の定、記録は出てきました。廃棄発言はさらに続きます。財務省の記録文書の改ざん...。 貧しくても、正直な国民性と丁寧な物造りが自慢だ、たはずの日本人。 悔しくて、残念でなりません。



ゆとり炉無我久庵 泉ヶ岳山麓 陶芸教室ゆとり炉 長命ヶ丘 泉岳窯ゆとり炉 泉ヶ岳離宮